

クリ収穫量調査をしています

日 時：令和6年9月から10月にかけて

場 所：香川県森林センター クリ山地栽培試験地

園内に2か所あるクリ山地栽培試験地では、早生種の「森早生」「丹沢」「国見」「ぼろたん」、中生種の「有麿」「銀寄」、晩生種の「石鎧」「美玖里」の8品種を栽培しています。収穫後は水選と目視によって良品と不良品に分け、品種ごとに個数や重量を調査しています。継続して調査することで、山地栽培に向く品種を探っています。



調査① イガが緑色で少し裂けた頃に収穫します。地面に落ちるとサルに食べられるためです。



② 先端にカギ状の金具がついた竿でもぎとり、地面に落とします。



③ 一つ一つ手でイガを開き、火ばさみで栗を取り出します。



④ 水を張ったバケツに栗を入れて水選します。浮いた物は不良品です。



⑤ 水気を拭きとりながら傷みや虫食いがいいかを確認し、良品と不良品に仕分けします。



⑥ 品種ごとに良品と不良品、それぞれの数をよみ、重さを量って記録します。



⑦ 良品は氷温熟成の試験後、県庁生協で販売します。冷蔵庫から出して水洗いをしている様子です。



売払① 1個ずつ磨き上げて、商品にふさわしい物を選別します。



② 虫食いの穴やカビによる変色、ブヨブヨした感触がある物は除きます。



③ 500gずつ量り、収穫ネットに詰めていきます。



④ 令和6年度は30kgの栗を県庁生協に売り払いました。



⑤ 店頭に並んだ様子です。予約が入るほど人気だと伺いました。